
4月馬鹿

まなつか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

4月馬鹿

【Nコード】

N1065S

【作者名】

まなつか

【あらすじ】

4月1日にちなんでのショートストーリー集です。

01話 パンツ

「なあ、マサオくん。お前エミちゃんのことが好きなんだろう？」

「あ、ああ。よく覚えてるね、そんな昔のこと」

「今でもそうなんだろう？ だったらいいものがあるぜ」

「な、何！？ いったい何が……っ！」

「テレッテレー」

「そ、それは……ッ！？ パンツ……だと……！？」

「はははは、俺の友人に下着ドロがいてな」

「どんな友人だよ！？ お前の友好関係疑うぞ！？」

「まあ、それはいいとする。どうだ？ ほしいか？」

「うわ、めっちゃほしい！！」

「1050円（税込）だ」

「（税込）ってところが君らしいね！ よし、買った！」

「へへ、まいどあり」

「おっしやあああああ！ 早速使用してみるぜ！」

「……え」

「くんかくんか……」

「ちょwおまwww」

「（*´Д、）ハアハア」

「……」

「どうした？ お前もやるか？」

「やらねえよ！ ……ってかごめん。それ、俺のカーチャンのです」

「……俺の1050円（税込）とプライドを返せええ

ええええ！！！！ ……あ、今日は……」

そうしてマサオ君は今日がエイプリルフルだという事に気づき、カズオ君と仲直りしましたとき。

02話 お風呂

部長「ふう……いい湯だなあ。露天風呂のうえに男女混浴なんてこの上ない幸せだな」

社員「部長……こんなところに女性なんてきやしませんよ」

部長「なっははは！ 松原くん、それを妄想するのがいいじゃないか」

社員「まあ、それもそうですね」

部長「それに、清掃員のねーちゃんがくるかもな」

社員「いや、それはただ掃除するだけですよ」

―― 一時間後

部長「……はあ……つまんねえなあ」

社員「僕、のぼせてきましたよ」

部長「……あ、人影が！」

ガラッ

??「ど、どなたかお入りですか？」

部長（おい！ マジで来たぞ！）

社員（ホントですね！ やばいです、興奮してk）

??「わ、私……入ってもいいですか？」

部長「あ、ああ。どうぞどうぞ」

社員「部長ーっ！ 僕らタオル巻いていませんよ?!」

部長「なっ!? しまった、ここは湯船にタオルを入れてはいけない！」

社員「あわわわ」

??「こんにちは、いい天気ですな」

部長「え？ いきなり男の声!？」

社員「え、しゃ、社長!？」

部長「ええっ！？　しゃしゃしゃ社長！？」

社長「はっはっは！　どうだ、声真似、上手いだろ」

部長・社員「……………（騙された）」

社長「あとで秘書に来てもらうように言っただぞ」

部長「ホントですか！？　うはwwあの秘書がwwww」

社長「嘘だバーカw」

02話 お風呂（後書き）

ギャグ小説はなかなかできませんね……

03話 大変な嘘

少年は思いを伝えようと決心した。そして、今日、告白を決めたのだ。

メールで公園に呼び出す。

「どうしたの？ 急に呼び出して」

「えと、その……とりあえず座ろうか」

「うん……」

少女は明らかに不審そうな顔をしていた。

「あのさ、僕、君のことが好きなんだ」

「えっ……」

少女は少し顔をしかめて考えたが、「ああ」と納得して笑顔になった。

「私もだよ」

「ほ、ほんとっ!？」

「うん、いいよ。付き合ってあげる」

「マジで!？」

「嘘よ」

少年は家に帰ってそのことを姉に話したら

「あんた、ばかだね。今日が何の日か知ってるの？ あいて、嘘言ってると思ったんじゃない？」

「あ……」

少年は真相に気づいてしまった。

03話 大変な嘘（後書き）

こんにちはー。まなつかです。

短編を三本、書いてみました。

今日は、あまりうまい嘘をつけない日ですね。いつもだったらすらすらと言えるのに……

ってか、嘘はいけませんね。

それでは、友達を騙してきます。ノシ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1065s/>

4月馬鹿

2011年10月7日23時45分発行